

● まち歩き 街路樹を見て回るⅡ

「わが街を知る・歩く・撮る・うたう」をテーマとして活動しているのが、自然と親しむ部会の活動です。因みに、「知る」とは、昭島の文化財であり昭和記念公園であり、縁であり農業であり、町であり自慢の水であります。その現場に訪れるためには、殆どの場合「知るため」に「楽しむため」に歩きます。そして活動中には、思い思いに記録写真を撮り毎回模造紙に添付して、部会時に発表します。同時に、これも毎回活動をテーマにして、全員が俳句を詠みます。ついでながら、この俳句作品は句集としてまとめて発表、今回第2集が出来ました。

さて、11月8日(土)うす曇り、午後2時勤労商工市民センター前から、「自然と親しむ部会」の第19回まち歩きがスタートした。今回のテーマは「街路樹を見て回るⅡ」です。メンバーは8名。諏訪松中通りを北に向う。いつもは何となく素通りしている歩道も、テーマを持って歩き出すと道に植えられた街路樹が新鮮に見えてくるから不思議です。まして、時折生け垣などに珍しい花を見つけると、立ち止まって皆で意見交換したりします。植物に詳しい人がいて、驚きです。



5月には青梅線南側の道路で「街路樹を見て回るⅠ」を行いました。若葉の季節でしたから、緑の色が萌え盛り、色とりどりの花も咲いて明るく賑やかでした。今回は、青梅線北側を主体に晩秋の街路樹を觀賞するわけですから、前回とは趣が異なります。気持ちが暗くならないかと心配していたのですが、巡回コースの一部には、幸いにも、産業まつりの初日とあって人手も多く、賑わいの中の「まち歩き」となり、紅葉・黄葉・落葉と、さまざまな木々の織りなす景色を觀賞できました。

これからもまち歩きは続きます。興味を感じた方参加しませんか。健康的ですよ。

自然と親しむ部会部長／柳澤安夫

● 防災学習交流会

街づくり市民会議/防犯防災部会(部長/西野英司)は、11月15日(土曜日)中神自治会館で、東京都地域防災学習交流会を開催した。

自治連第2・第5・第6ブロックの自治会長・副会長・防犯防災担当の方々28名の皆さんが参加してくれた。

主催 : 東京都総務局総合防災部防災管理課

講師 : 地域防災支援協会

株式会社イオタの代表取締役 三平 洵氏 (東京都委託)

今回は防災のリーダーとして実際の訓練ではなく、30年以内に70%の確率で発生すると言われる首都直下地震のメカニズムや、被害想定を踏まえ、日本人の災害観である諦観や自然への順応など、無防備を助長している弊害を打ち破るため「生活継続防備」という新しい視点から、個々人が備えるべき自助の内容、ならびに共助の基盤としての近隣関係向上について講演を聴き、考え・質疑・意見交換を行いました。「今後の地域防災対策のきっかけ」に出来たらよいと思います。

防犯防災部会／櫻井堅司



▲江戸街道を渡り、諏訪松中通りを北へ街路樹はイチヨウ



▲昭島駅北側の交差点を東へ街路樹はトチノキ



▲中神自治会館 会場の入口



▲学習交流会講習風景